

## 佐賀市自治基本条例素案作成等支援委託業務 第3回検討会 会議録

日時：平成24年4月22日(日) 10時00分～12時30分	
場所	佐賀市役所本庁舎6階 6-2会議室
出席者(委員)	荒巻軍治、小城原直、香月道生、小林紀、下村律子、田中夏代、奈須祐治、高原陽子、松尾和男、山下雄司、吉浦英登、西村イサ子、木塚真由美、田中丸眞廣、古賀史明、森田梨嵯、武本智子、江口麗子、堤惟義、山口洋昭、西村健彦、前田治久、徳永竜也、野方幹子、矢坂博子、吉村レイ子、湯川淳哉、江副友美、川浪京子、島剛、亀山清美、西村康喜、矢渡高次、徳永浩、石橋孝彦 ※敬称略、順不同
出席者(事務局)	佐賀市役所(石井、松尾、大城、西、白濱、福田、林田、武富、宮崎) ランドブレイン(山田、堀口、三木、宮本)
<p>議事内容</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 前回の振り返り</p> <p style="padding-left: 2em;">第2回検討会 配布資料2、3参照</p> <p>質問：自治基本条例の公募の仕方について教えてほしい。</p> <p>回答：現在参加されている35名の委員のうち10名については、直接市から、指名した指名委員である。おもに学識経験者の方や様々な団体などで活動されている方を指名させて頂いた。</p> <p>5名については、一般公募の方で、全員で11名の方が公募されていたが、面接や順番などをつけ、上位5名が現在の委員となっている。残りの20名については、ドイツの手法(プラーヌクスツェレ)を用いて無作為抽出で委員の選出を行った。</p> <p>一般的な方法で公募するとある程度は同じ人が集まってしまうので、様々な階層の人の意見を取り入れるために、あらかじめ無作為抽出で選出する旨を伝えて参加を促した。その際に全体のバランスを考慮すべく、多段的無作為抽出で1500の通知を行い、最終的に68名から「ぜひやりたい」と応募があった。合併された地域、旧市町村から選出することと男女の比率や年齢などを考慮した抽選会を1月の末にオープンに実施した。結果、現在参加されている20名が選出された。</p> <p>(2) 佐賀市における協働の現状について</p> <p style="padding-left: 2em;">①佐賀市の参加と協働をすすめる指針</p> <p style="padding-left: 2em;">②市民活動応援制度「チカラット」</p> <p style="padding-left: 2em;">③地域コミュニティの取り組み</p> <p>市民活動推進課から①佐賀市の参加と協働をすすめる指針、②市民活動応援制度「チカラット」について、総合政策課からは③地域コミュニティの取り組みについて、それぞれ協働に対する取り組みの説明が行われた。</p>	

(3) ワークショップの開催

第一. 説明を聞いて意見交換

第二. 各グループの発表

ワークショップの結果は、第3回佐賀市自治基本条例検討会議 ワークショップ「現状の協働のまちづくりに対する問題点。なぜできていないのか。」 各班からの意見一覧、まとめ（全体）を参照

(4) その他

3. 事務局連絡

4. 閉会

○次回について

次回は、5月19日(土)の10時から2時間程度を予定している。